



ひらどだい

令和4年度 学校だより 9月号 横浜市立平戸台小学校学校長 丹波 悟亮



時代の変化

校長 丹波 悟亮

久しぶりの行動規制のない夏休み。子どもたちは、家族や地域の人たちとの時間を楽しんだことと思います。平戸川沿いの笹飾り、地域のお祭り等が行われました。コロナ禍でも、子どもたちの笑顔のためにという思いを大事にしてくださる地域に感謝しております。



長期の休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声と笑顔がもどってきました。これからは、残暑による熱中症と新型コロナウイルスの対策をしながら、無理をしないで、ゆっくりとじっくりと学校生活に慣れていってこれればと思っています。まずは、生活のリズムを戻し、学習への意欲づけをしていきたいです。

コロナの影響で、GIGAスクール構想が急速に進みました。児童一人に1台のタブレット端末があることで、授業の方法も大きく変わってきています。教育が大きな転換期にあることは間違いないと思います。明治以来の変革期だとも言われています。

「ごんぎつね」で有名な新美南吉さんの「おじいさんのランプ」には、明治の文明開化によって、ランプが村中に広まり、さらに電燈にとって代わる様子が描かれています。時代の変化の中で、逞しく生きていく様子がありありと伝わってくるお話です。

ノートと黒板と教科書が主流だった教育活動が、徐々に、タブレット端末に代わっていくのでしょうか。いろいろな問題点も指摘されています。大きな流れや突き進む力を生み出すには、混乱を伴います。その混乱は、これからの未来を創る原動力だと捉え、子どもたちとしっかりと進んで行きたいと思っています。